

2024年度 青少年夏のつどい『第40回 オーバーナイトハイク』報告書

柏市青少年相談員連絡協議会会長 中川 早苗

夏のつどい部部長 梅林 明日香

1 事業名 青少年夏のつどい『第40回 オーバーナイトハイク』

2 実施日時 2024年8月24日(土)19:30から
2024年8月25日(日) 6:00まで

3 会場 柏市内 北部地域 約30km

4 参加者 市内在住中学生 334名 (募集時428名)

組織内参加者 126名

一般参加者 63名

行政 3名

賛助会 10名

計 536 名

救護 ※33件 リタイア(中学生)1件 (相談員)1件

※救護本部へ搬送29件29名

救護本部への搬送なし4件4名(トイレのみ)

5 運行状況

カッコ内は予定時刻との差

	スタート(先頭)	ゴール(末尾)	解散
Aグループ	20:15	4:48(+37)	5:02(+24)
Bグループ	21:30	5:59(+33)	6:13(+20)

6 活動内容

期 日	事 業 内 容
2024年 4月14日(日)	第1回部会(23名)
5月19日(日)	第2回部会(29名)
5月25日(土)	第1回下見・歩行練習(26名)
6月23日(日)	第3回部会(27名)
6月29日(土)	第2回下見・歩行練習(50名)
7月7日(日)	第4回部会(24名)
7月7日(日)	全体説明会(117名)
7月20日(土)～ 21日(日)	第3回夜間下見・歩行練習(84名) 中止
8月4日(日)	第5回部会(27名)
8月10日(土)	休憩所・物品準備(22名)
8月18日(日)	休憩所・救護・看板準備(15名)
8月23日(金)	前日準備(17名)
8月24日(土)～ 25日(日)	第40回オーバーナイトハイク

7 収入 ※ゆめ基金の助成金額はまだ確定していません。

項目	金額(円)	説明
夏のつどい部予算	500,000	柏市助成金
参加費	228,600	中学生381人×600円
ゆめ基金助成	※292,518	安全管理費(水、レンタカー、反射材)
合計	1,021,118	

8 支出 ※支出においては8月26日現在全員分の精算が終了していない為不確定です。

項目	金額(円)	説明
報償費	367,810	タオル、反射板
食糧費	330,169	完歩パン、水、ジュース
消耗品費	※83,344	休憩所、救護物品 等
役務費	※70,728	道路使用許可証、駐車場代、保険代、Zoom契約料 等
印刷製本費	24,200	募集チラシ
備品費	0	
燃料費	※26,288	ガソリン代
賃借費	109,650	レンタカー代 打合せ会議室代
合計	1,012,189	

9 ゆめ基金助成分内訳(9/1現在申請中の為未確定)

※使用した分のみ助成対象。

項目	内訳	金額(円)
※反射板	162.9375円×536人	87,334
水	48円×1872本	97,044
レンタカー		108,140
合計		292,518

今年のオーバーナイトハイクは本部の場所変更に伴い付随して変更を余儀なくされる事も多かった為、水面下では昨年から動いていたのですが、それでも期間的にギリギリに感じる部分もありました。そんな中、活動に全力を注いでくれた夏つど役員・部員さん、執行部の方々それから行政の皆様には感謝しかありません。執行部会、運営委員会が例年よりも少なく、こまめに情報が共有されていない。ないがしろになっている。等々感じさせてしまったようで、本当に私の不徳の致す所です。申し訳ありませんでした。

結果論にはなってしまいますが、第40回オーバーナイトハイクは大成功だったと思います。

もちろん何もトラブルがなかったかというと色々問題は起こりましたが、大きな怪我なく、救急車にも警察にもお世話になる事なく、無事にみなさんにご帰宅いただけた事、そしてきっとみなさんに参加者ならではの想いを持って帰っていただけた事。地域のみなさんと相談員が一丸となって中学生を見守った事。お一人お一人が気配りしてくださった結果だと思っています。

子供達の為に！と思いを一つにして進めているつもりですが、やはり時代は多様性。そもそもボランティアに対する考え方も違えば熱量も違う、いつ何が起きるかわからない時代でもあり、そんな中でも子供達を守る数のスタッフの確保に対しては困難を極めました。どうしても30kmを歩く。一晩拘束される。ハードルの高いイベントになってしまってるのだと痛感せずにはいられませんでした。正直な感想としては、このイベントが今の子供達に合っていないのではなく、運営する側に合っていないのかなと悩む日々でした。でもオーバーナイトハイクは子供達のアンケートを見ても分かるようにやはり貴重な体験になり、今までにないような感想を持ってもらえる、これから先の自信や希望が持てるものなんだと実感しているだけに、もっとどうにかできないものかともどかしいままに今期最後となってしまいました。

今期はこれで終わりですが、来年以降も課題は出続けると思うので、新しいメンバーと周りのみなさんと是非頑張っていって欲しいです。